科目名称	病態治療論Ⅴ （運動機能障害）	学年学期	単位数	時間数
		2 学年前期	1	30 時間の内 15 時間
担当教員	田中　純一	授業に関わる 実務経験	■ 有 （ 医師 ） □ 無	

【1】 授業概要

運動機能の作用と障害・治療について学ぶ

【2】 学習目標

1．運動器の構造と機能、運動機能障害の症状と病態生理、検査と治療について述べることができる。

【3】 第 2 看護学科ディプロマポリシーとの関連性

■ 1．生活者としての人間の理解
■ 2．人間の生命、尊厳、権利を尊重した判断・行動
□ 3．多様な価値観、共感的態度、倫理に基づいた看護実践
■ 4．科学的根拠に基づいた看護実践
■ 5．多職種との連携・協働
■ 6．地域医療の理解と生活の支援
■ 7．自己の資質向上のための主体的な学び

【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
1	運動器の構造と機能・運動器の専門用語	講義
2	運動器疾患症状とその病態生理	講義
3	運動器疾患の検査・診断と治療・処置	講義
4	運動器疾患の理解(1)	講義・演習
5	運動器疾患の理解(2)	講義
6	運動器疾患の理解(3)	講義
7	運動器疾患の理解(4)	講義
8	筆記試験	

【5】 評価方法

科目評価は、筆記試験、授業態度等で総合的に評価する。

【6】 教科書

田中栄：系統看護学講座　成人看護学(10) 運動器　第 15 版　医学書院　2022

【7】 参考書

【8】 受講生へのメッセージ

科目名称	病態治療論Ⅴ （画像診断）	学年学期	単位数	時間数
		2 学年後期	1	30 時間の内 7 時間
担当教員	山本　浩司	授業に関わる 実務経験	■ 有 （ 医師 ） □ 無	

【1】 授業概要

画像診断について基礎的知識を深め、看護に役立てる。

【2】 学習目標

1. 放射線医療について述べることができる。

【3】 第 2 看護学科ディプロマポリシーとの関連性

■ 1. 生活者としての人間の理解
■ 2. 人間の生命、尊厳、権利を尊重した判断・行動
□ 3. 多様な価値観、共感的態度、倫理に基づいた看護実践
■ 4. 科学的根拠に基づいた看護実践
■ 5. 多職種との連携・協働
■ 6. 地域医療の理解と生活の支援
■ 7. 自己の資質向上のための主体的な学び

【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
1	放射線とは ・ 画像診断	講義
2	画像診断と放射線治療	講義
3	放射線防護 ・ 看護師国家試験問題演習	講義
4	筆記試験	

【5】 評価方法

科目評価は、筆記試験、授業態度等で総合的に評価する。

【6】 教科書

尾尻博也：系統看護学講座　別巻　臨床放射線医学　第 10 版　医学書院　2022

【7】 参考書

講師作成のスライド資料

【8】 受講生へのメッセージ

科目名称	病態治療論Ⅴ （脳神経機能障害）	学年学期	単位数	時間数
		2 学年前期	1	30 時間の内 9 時間
担当教員	門田　治	授業に関わる 実務経験	■ 有 （ 医師 ） □ 無	

【1】 授業概要

脳神経機能・運動器機能の作用と障害・治療について学ぶ。

【2】 学習目標

1. 脳神経系機能の障害と治療について理解する。

【3】 第 2 看護学科ディプロマポリシーとの関連性

■ 1. 生活者としての人間の理解
■ 2. 人間の生命、尊厳、権利を尊重した判断・行動
□ 3. 多様な価値観、共感的態度、倫理に基づいた看護実践
■ 4. 科学的根拠に基づいた看護実践
■ 5. 多職種との連携・協働
■ 6. 地域医療の理解と生活の支援
■ 7. 自己の資質向上のための主体的な学び

【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
1	脳・神経系の構造と機能・救命不能症例への対応	講義
2	症状とその病態生理・検査・診断と治療・処置	講義
3	脳神経系疾患の理解(1)	講義
4	脳神経系疾患の理解(2)	講義
5	筆記試験	

【5】 評価方法

科目評価は、筆記試験、授業態度等で総合的に評価する。

【6】 教科書

井出隆文：系統看護学講座 専門分野　成人看護学(7)　脳・神経　第 15 版　医学書院 2022

【7】 参考書

【8】 受講生へのメッセージ